

株式会社ジェイコム湘南・神奈川 南横浜局

2019年度 放送番組審議会 議事録

2019年度の放送番組審議会は、2020年2月27日(木)に株式会社ジェイコム湘南・神奈川 南横浜局で開催された。

＜放送番組審議会委員＞ (五十音順)

新井 克弥 様	菊嶋 秀生 様	鴫田 要一 様
原 久美子 様	山野井 正郎 様	渡辺 ひとみ 様

事業者側からJ:COMチャンネル(11ch)とJ:COMテレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】(山野井会長による進行)

◆「デイリーニュース」について

委員 放送時間が18:00から17:00に変更した理由は何か。ターゲットが高齢者であれば良い時間帯なのかもしれないが、夕方忙しい主婦や自宅にいない若い世代は見ない時間帯なのではないか。

事業者 以前は放送時間がバラバラだったが、プロモーションの意味もあり17:00に統一した。18:00は民放のニュースが始まるため、その前の時間を狙った。生放送時間帯に見ることができない視聴層には、「ど・ろーかる」のアーカイブや当日の再放送の案内をしている。

委員 18:20からの放送が良いのではないか。18:00から民放のニュースが始まるが、20分ごろからはストレートニュースが終わりお店紹介などの特集的な時間。その時間になったら、J:COMチャンネルを見てもらえるチャンスかもしれない。またニュース進行はパターン化したほうが、定着して見てもらえる。

事業者 前半はトピックス、後半は企画、行政からのお知らせなどの基本の枠組みが出来ているので、視聴者は取捨選択しているかもしれない。

委員 「栄区なう!TV」は今後も栄区のみ情報なのか。区長が出演していると視聴

者にとっても身近に感じる。他のエリアにも広げられれば良いと思う。

事業者 他の区にも呼びかけているが、(費用がかかることもあり)実現してない。今後
も働きかけはしていきたい。

委員 台風情報など災害に強い番組だと感じた。シーサイドライン事故後の生中継も非
常に良かった。

◆プロモーションについて

委員 地域の取り上げるべきイベントを、まんべんなく取材している。だからこそ、も
っと広く見てもらえるようにすべき。

事業者 私たちもプロモーションについては課題だと感じている。取材先ではカードサ
イズの放送予定を配布している。

委員 J：COMテレビとJ：COMチャンネルの2チャンネルあると、視聴者には分
かりにくいかもしれない。TVKとの違いも伝わっていない。

委員 馬車道スタジオでデイリーニュースの公開収録をしたり、まちなかで出張公開収
録などすればプロモーションになるし、地域へのアピールにもなる。

事業者 デイリーニュース内での生中継を行うことで、地域へのアピールをしている。
ただ、中継スタッフは少人数のため、あまり目立っていない。今後、出張公開収録等検
討していきたい。

委員 ケーブルテレビの利点は機動力。フレキシブルに動けることなので、TVKとの差
別化として「見えるラジオ」を目指してはどうか。J：COM独自の視点になる。

◆情報提供について

委員 取材してほしい情報はどうやって知らせれば良いのか。神奈川新聞などは、HPか
ら書き込めるようになっている。

事業者 地域プロデューサーが横浜市内を回っているのでぜひ、声をかけてほしい。こ
れまで取材依頼をしたことのない人は、ガイド誌などへ番号記載のあるカスタマーセン
ターへ電話をいただければ制作部署へ連絡がある。Webでの問い合わせも受け付けて
いるが、もしかしたらJ：COMのホームページは階層が深く、分かりにくいかもしれ
ない。

◆その他のご意見・ご要望について

委員 育児中に産後うつになる方も多い。子育て支援の必要な方に子どもをつれて遊べる場所やおむつ替えができる場所などの情報があると良い。

事業者 馬車道事務所には育児休業から復職したスタッフがいる。横浜以外のデイリーだが、そういったスタッフの意見からデイリーで子育て企画コーナーを実施した例もあるので検討したい。

会長 地域をどのように結び伝えられるかは、ケーブルテレビの使命だと思う。今回の意見参考にがんばっていただきたい。

以上